



社協だより

第62号
2023.2.1
発行

学生ボランティア活動

御荘中学校ボランティア「もちつきボランティア交流会」

12月6日（火）愛南町社協本所「菊川交流館」にて、ボランティア交流会を開催しました。この交流会は、世代を超えたボランティア交流を目的としており、学生同士でも、学年が違ったり、卒業などにより、つながりが希薄になってもこうした交流会を行うことで、つながる機会づくりとして開催しました。今回は、御荘中学校 3年生9人が、フードバンクに寄付された「もち米」を活用し、深浦地区のふれあいサロン「にこにこサークル」のスタッフを講師に、世代をこえたボランティア交流会を行いました。

紅白のお餅を約200個つくり、12月7日（水）に新たに民生児童委員になられた皆様へお渡ししました。



「よいしょ～」の掛け声と共に、杵でつくると、ふわふわなめらかなおもちになりました✨



社協だより62号 目次

- | | |
|--------------------------------|-------------------|
| P1 学生ボランティア活動 | P2 会長あいさつ・あいなん防衛隊 |
| P3 赤い羽根共同募金運動実績報告 | P4 独居、高齢者世帯訪問活動 |
| P5 フードパントリー・重層窓口について | P6・7 介護の資格紹介 |
| P8 おかえり食堂・社会福祉大会表彰者・杖貸出・まごころ銀行 | |

新年のご挨拶

あけましておめでとうございます。今年も「コロナ禍」での新年となり、1ヶ月が過ぎました。町民の皆様には、令和5年の新春を晴々しい気持ちでお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、社協会費や共同募金をはじめ、社会福祉協議会の諸活動に対しまして、温かいご支援、ご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

現在、社協では令和3年度から「重層的支援体制構築準備事業」を愛南町から受託し、役場本庁内に「くらしの相談窓口」を設置し、いろいろな相談を包括的に受け止め、行政・関係機関がスムーズな連携のもとで、支援できる体制づくりに取り組んでいます。

昨年は、令和4年度から令和8年度までを計画期間とする「第2期愛南町地域福祉活動計画」を策定いたしました。さらに、新たな事業として、小学4年生から6年生の児童を対象に「放課後の子どもの居場所づくり事業」、「地域食堂」、また、コロナ禍の影響を受けて生活に困窮している方への「生活福祉資金貸付事業」の相談・支援等にも、積極的に取り組んでいます。

在宅福祉事業につきましては、居宅介護事業（ヘルパー）、居宅介護支援事業、障がい者等相談支援事業、訪問介護事業、訪問入浴介護事業、通所介護事業等、利用者お一人おひとりに寄り添った、安全で質の高い介護サービスの提供に努めています。

本年も愛南町社協は、地域福祉の中核を担う団体として、「誰もがその地域で安心して自分らしく暮らせるまちづくり」を基本理念とし、役職員一丸となって、さらなる地域福祉の推進に取り組んで参りますので、町民の皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びになりますが、本年が皆様にとりまして、幸多き素晴らしい1年となりますよう、心からお祈り申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

令和5年2月1日

愛南町社会福祉協議会 会長 那須 英治

社協 × 南宇和高校ボランティア部「あいなん防衛隊」 in ^{りょくえん}緑縁ファーム

社協が開催する、福祉のまちづくり座談会や小地域福祉活動において、若い担い手不足が課題であることを捉え、社協と南宇和高校ボランティア部が協力し、「あいなん防衛隊」を立ち上げました。あいなん防衛隊は、さまざまな地域活動ボランティアを通じて、地域や地域の方と交流活動をしています。

11月18日（金）に緑地区にある社協の「緑縁ファーム」で芋ほりボランティアに参加しました。



「緑縁ファーム」



収穫した芋は、「フードパントリー弁当」の食材として、使用しました。
あいなん防衛隊は、地域のみなさまの要望にお応えし、ボランティア活動をしていきます。お問合せは、愛南町社協（TEL 73-7776）までご連絡下さい。



令和4年度 赤い羽根共同募金運動実績報告

10月1日から12月31日にかけて赤い羽根共同募金運動を実施して参りました。

運動期間中には、住民の皆様方や学校・職場・企業の方々には格別のご支援とご協力いただき心から厚くお礼申し上げます。

また、行政協力員の皆様や小中学校・高校の先生方にもご理解とご協力いただき誠にありがとうございました。

このコロナ禍におきましても、今年度も住民の皆様の助け合いに支えられ、赤い羽根共同募金運動を展開することができました。皆様からの募金は、民間の地域福祉活動の財源として幅広く活用させていただきます。

愛媛県共同募金会愛南町支会 会長 那須 英治

◎令和4年度の実績報告

募金方法	実績額	件数	備 考
戸別募金	2,827,400	5,654	各世帯
法人募金	927,037	104	会社・企業
学校募金	255,119	28	小学校・中学校・南宇和高校
職域募金	513,601	58	役場・消防署・南予地方局・県立南宇和病院他
個人募金	455,000	150	個人大口
その他の募金	47,163	5	ガチャポン他
合 計	5,025,320	5,999	

赤い羽根共同募金運動にご協力いただき誠にありがとうございました。

◎共同募金を活用した主な事業

事業名	事業の内容
老人福祉活動事業	希望する高齢者等の方へ福祉杖の配布
障がい児・者福祉活動事業	障がい者団体への助成
児童・青少年福祉活動事業	小・中学生対象の体験学習、子育て支援の実施や里親団体への助成
母子・父子福祉活動費	母子・父子家庭の小学校卒業生への記念品贈呈
福祉育成・援助活動事業	独居高齢者の見守り活動の推進

赤い羽根地域福祉推進特別事業 ～赤い羽根共同募金の助成で車両購入～

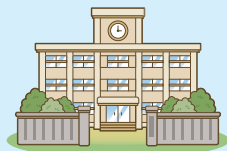
この度、赤い羽根共同募金の助成を受け、軽車両を購入し、地域福祉活動をより円滑に実施することができるようになりました。

これからも、愛南町の地域福祉推進のために貢献できるよう、活用させていただきます。皆様の善意で集めていただいた共同募金は、このように地域のために使われています。今後ともご支援のほどよろしくお願いいたします。





地域 × 小学校 × 社協 「独居、高齢者世帯訪問活動」



柏小学校、福浦小学校では、昨年に引き続き、児童が地域の方と一緒に自分たちが住んでいる地域の高齢者訪問活動をしました。「訪問して、笑顔になってくれて嬉しかった」「去年も来てくれたね、ありがとう」等ほっこりする優しい言葉がたくさん聞くことができ、地域の人と児童が楽しく交流をしました。

柏 小学校



地域の人と顔合わせをしたら♪
訪問する人の確認や配布物、
声掛けについて話し合います。



地域を歩いて、訪問先に到着。
ドキドキするけれど、大きな声であいさつとお話をしたよ～♪



訪問後、みんなで意見交換をして活動を振り返りました。
地域と児童のつながりづくりは回数を繰り返すことで、
お互いを知り、いざという時の声掛けや支え合いにつながっていくような活動をしていきたいと思います。



「来てくれてありがとう。嬉しい」
の声掛けと素敵な笑顔を頂きました♡児童も嬉しいひと時です♪



福浦 小学校



地域の人と小学生が、8 班に分かれ訪問する人の確認や配布物、
声掛けについて話し合います。



「去年も、この道を通って、このお宅に訪問にきたよ」といった小学生の声もあり、楽しく周ったよ～♪



「今年も待ってたよ♪来てくれてありがとうね～」「うれしい」と笑顔があふれます♪



福浦地区では、小学生や地域の方が協力して独居訪問をしており、今回4回目となりました。現在6年生の児童は、慣れた様子で訪問活動をし、低学年も地域も引く張るリーダーとして成長しています。

フードパントリーに参加してみませんか



日時：2月8日（水）午前9時～11時 / 場所：御荘文化センター2階

「フードパントリー」は、個人の方から企業（フジ・JA）を通じてご寄付いただいた食料品を生活に困っている家庭や団体など、多くの皆さんと分け合う取り組みです。「食」を通じた助け合いや、食品ロス削減に参加してみませんか。

食料品を
無料配布します



食料品のご寄付も
受付けております



お米・カップ麺・レトルト食品・調味料
お菓子など

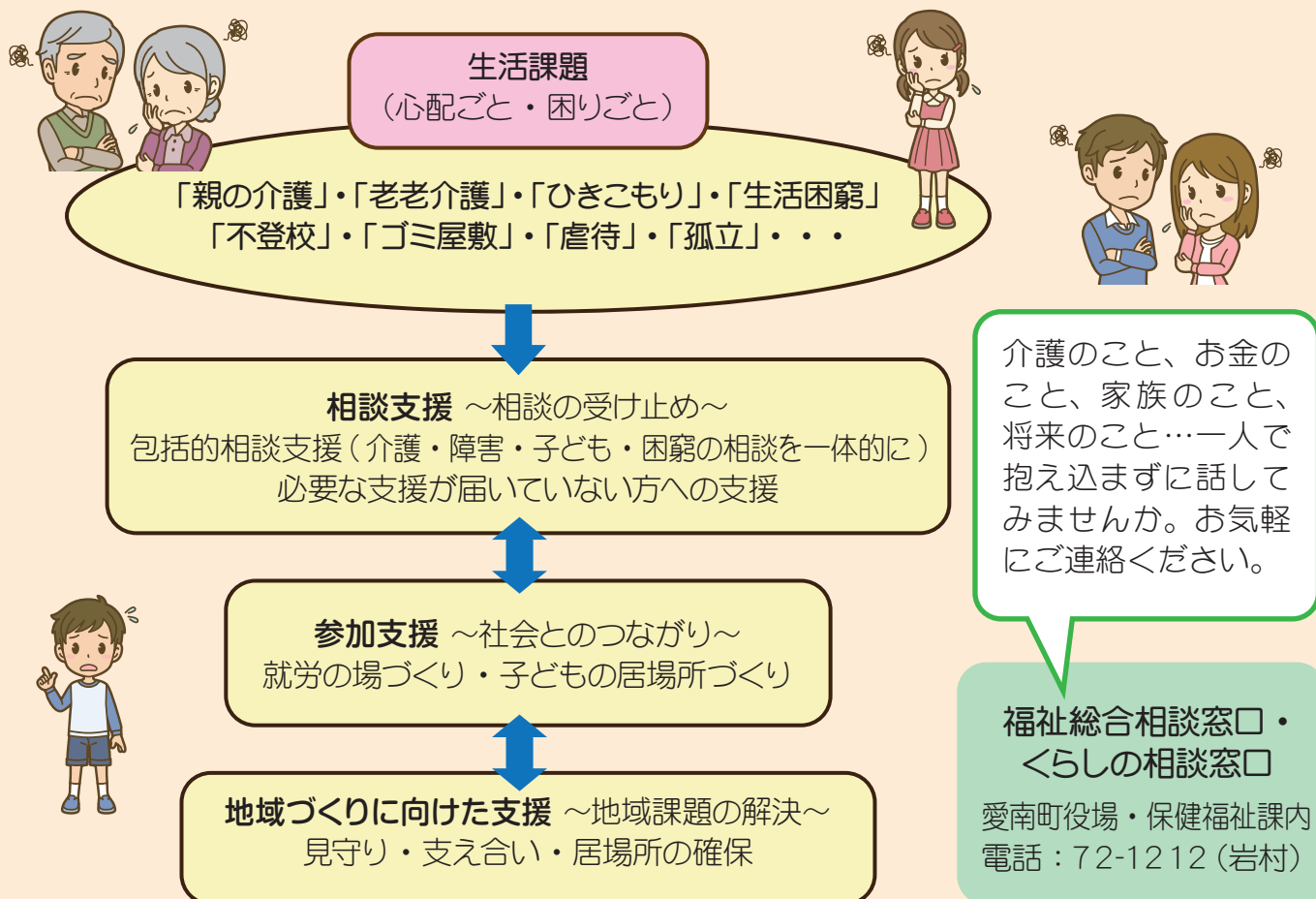
- ◎できる限りエコバッグをご用意ください。
- ◎時間によりお渡しできるものが限られる場合があります。

缶詰・カップ麺・レトルト食品・調味料
お菓子など余剰食品など

- ◎ご寄付は、賞味期限が1ヶ月以上あるもの、未開封のもの、日本語表記のあるもの、常温での保存ができるものに限りさせていただきます。

重層的支援体制整備構築準備事業

「重層的支援体制整備事業」とは、少子高齢化、人口減少、地域社会の脆弱化など社会構造の変化する中で、人々が様々な生活課題を抱えながらも、住み慣れた地域で自分らしく暮らしていけるよう、地域の住民が支え合い、一人ひとりの暮らしと生きがいを大切に、地域をともに創っていくことのできる「地域共生社会」の実現を推進するために、「相談支援」、「参加支援」、「地域づくりに向けた支援」を一体的に行う事業です。愛南町では令和6年度からの実施に向けて、取り組んでいます。



介護の資格紹介！



「ガイドヘルパー」 ～移動の介護従事者～

① ガイドヘルパーってどんな資格？どんな仕事？

一人で外出することが困難な人（障がい者の方）に対してお手伝いをする仕事です。
対象者：全身性障がいの方・視覚障がいの方・知的障がいの方・精神障がいの方

※ 利用されたい方は、愛南町役場保健福祉課にご相談ください。

（愛南町役場保健福祉課 TEL 72-1212）

② ガイドヘルパーの資格は 3 種類！

【同行援護従事者】視覚に障がいのある方をサポート

- ・外出時の歩行、公共交通機関利用時の移動のサポート、外出先での代読や代筆、食事やトイレの介助等

【全身性障害者移動介護従事者】四肢に障がいのある方をサポート

- ・外出時に車や歩行者、自転車等に気を付けて移動を誘導、もしくは移動を介助する等、四肢や全身障がいの状態に合わせて必要な介助を行う

【行動援護従事者】知的・精神障がい者の方をサポート

- ・移動や外出時の着替え排泄などの支援、障がいの特性に応じたコミュニケーションをとり、外出時の問題や危険から守る役割

③ ガイドヘルパーになるには？

都道府県、市町村、福祉系の学校、NPO 法人などが開催する研修を修了し資格を取得できる。

3 種類それぞれに研修があり、取得したい資格に合わせて受講します。



愛南町社協訪問介護事業所は、障がい福祉サービスである居宅介護事業も行っています。併せて同行援護、移動支援、重度訪問介護も行っています。

同行援護をご利用の
西田さん

ご利用者の声

移動支援をご利用の
松蔭さんのご家族

『視覚障がい者同士で遠方に外出した時大変だった。ガイドヘルパーを利用してみて、こんなに便利なんだとびっくりした。ほんとうにうれしかった。今は安心して外出できる。今後も視覚障がい者にとってガイドヘルパーは欠かせない人だと実感している。まだ、利用していない視覚障がい者にもぜひ利用してもらいたい。』

『ここ数年、コロナで愛南町の障がい者旅行に行けてないが、いまだに日帰り旅行の話をよくする。「いつ旅行に行けるの?」と聞いてくる。行ける日を楽しみにしているようだ。次にあるようなら、ぜひ参加させたい。今まで旅行に付き添ってくれていたヘルパーさんをお願いしたいと思い、今年も移動支援の申請をした。』



貴重なご感想とご意見、ありがとうございます。ご利用者様の声を励みにし、外出支援を行ってまいります。



① 同行援護従事者



安心して外出していただくため、私たちガイドヘルパーがサポートしています。

② 全身性障害者移動介護従事者

① ② 重複取得従事者

おかえり食堂

愛南町社協が運営するおかえり子どもクラブの児童とその家族を対象に、「おかえり食堂」を開催しました。地域の方々にもご協力いただきカレーライスをつるまいました。



愛媛県社会福祉大会表彰

「第70回愛媛県社会福祉大会」が10月31日に開催され、長年社会福祉の発展にご尽力され、多大な功績を残された方々が受賞されました。

愛南町では、次の方が表彰されました。

愛媛県社協会長表彰

民生児童委員 吉田 恭一 様



福祉杖給付事業

高齢者または杖が必要な方に福祉杖を給付しています。

【給付場所】

- 愛南町社会福祉協議会
- 愛南町役場保健福祉課（本庁）
- 城辺保健福祉センター
- 内海支所
- 御荘支所
- 一本松支所
- 西海支所
- 中浦公民館

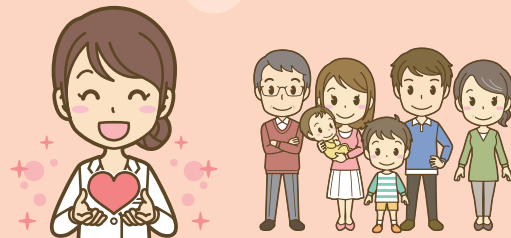


給付場所で申請書に本人または、代理人で取りに来られる方の印鑑が必要です。印

《まごころ銀行》ご寄付紹介

下記の方々よりご寄付をいただきました。
紙面を借りて御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

株式会社エースワン 様
池田 恵子 様



社会福祉協議会では、皆様の善意の預託（寄付金・チャリティー収益・香典返し等）を受けたまごころ銀行を設置しています。愛南町の福祉の増進に寄与することを目的とした寄附金は地域福祉事業の財源や災害見舞金等に活用されます。寄附金は年間を通してお受けしておりますので、皆様のあたたかいお気持ちをお寄せいただきますよう、よろしくお願いします。

愛南町社会福祉協議会 社協だより 第62号

発行 / 社会福祉法人 愛南町社会福祉協議会 〒798-4101 愛媛県南宇和郡愛南町御荘菊川 1157 tel.0895-73-7777 fax.0895-74-0520

この社協だよりは、共同募金配分金を活用しています。